

<b>SSKS JAPCニュース</b>		編集人 特定非営利活動法人 日本失語症協議会 〒168-0082 東京都杉並区久我山 2-10-23 園田方 Tel.03-5335-9756 Fax. 03-5335-9757 1冊 400円 ゆうちょ口座番号 00180-7-174216
2024年 2月発行 第67号		発行人 特定非営利活動法人 障害者定期刊行物協会 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 Tel03-6277-9611 ax03-6277-9555
特定非営利活動法人日本失語症協議会機関誌 『言葉の海』 新聞版 協議会ホームページ URL: <a href="https://www.japc.info/">https://www.japc.info/</a>		

## 失語症全国大会 in やまなしを終えて

実行委員長 内山量史  
(一般社団法人山梨県言語聴覚士会 会長)



令和5年9月30日に「失語症全国大会 in やまなし」を山梨県立図書館イベントスペースにて開催いたしました。

当日は全国各地から約230名の失語症のある方やご家族、言語聴覚士、言語聴覚士を目指す学生さんが参加されました。また甲府に来られない方々にはオンラインを活用し全国27か所から参加をしていただきました。当日は本イベントに合わせて友の会やサロンを開催してオンラインで参加された組織もありました。

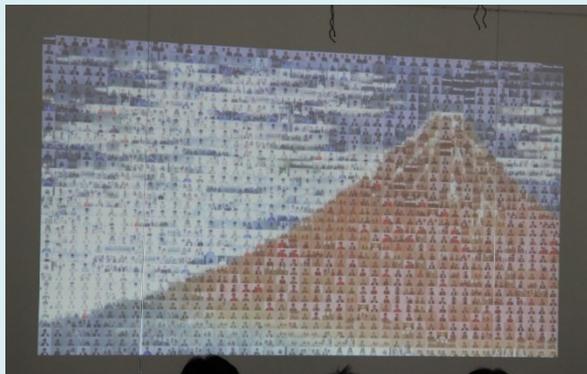
この全国大会は2020年9月の開催で準備を進めてきましたが新型コロナウイルスの感染拡大により延期を余儀なくされました。準備した数千枚のチラシを破棄し、プログラムをはじめ決まっていた会場もキャンセルした経験から再度、奮起し大会の準備に向けて始動するのは正直大変な作業でした。ゼロからひとつひとつ積み重ねて準備を進めていきました。それぞれの役割を完璧に果たして成功に導いていただいた実行委員に感謝申し上げます。

大会プログラムは午前中は座談会「失語症の“現在”（いま）と“未来”（これから）」をテーマに園田尚美氏（日本失語症協議会 理事長）、渡邊修氏（東京慈恵医科大学附属第三病院）、深浦順一氏（日本言語聴覚士協会 会長）、立石雅子氏（日本言語聴覚士協会 副会長）が登壇され当事者との意見交換が行われました。



午後は日本失語症協議会設立40周年記念イベントからスタートし、お楽しみレクリエーションとして失語症友の会「若竹」の群読やじゃんけん大会で会場は大いに盛り上がりました。失語症全国大会をいつも応援されている大田仁史氏（茨城県立健康プラザ管理者）の講演はユーモアあふれる中にも「支え合う仲間の必要性」について熱いメッセージをいただきました。みんなで歌おうのコーナーでは山梨県、愛知県、岩手県の当事者や言語聴覚士がご当地ソングを元気な歌声で会場全体を包み込みました。閉会に向けては当会が山梨県より平成23年度に委託を受けて作製した介護予防体操「ニコニコ長生きやまなし体操」で身体をほぐし、参加者の顔写真で作成したモザイクアート「赤富士」の披露で閉会となりました。





前回の大分県別府市での開催（2019年3月）から4年間が経過しており、会場は久々の再会や交流を楽しむ当事者の方々の笑顔で満ち溢れていました。あの光景を目の当たりにし嬉しい気持ちで一日を過ごすことができました。

本大会には失語症者向け意思疎通支援者 15名が県から派遣され、全国規模の大きなイベントに初めて支援者が派遣されるという実績も作ることができました。失語症のある方が豊かな社会生活を送るためにもこの意思疎通支援事業が全国各地で有効に活用される契機になれば幸いです。

本大会の開催に際しては山梨県をはじめ多くの都道府県言語聴覚士会、関連団体、言語聴覚士が勤務する病院の協力をいただきました。本当にありがとうございました。

山梨の地で日本失語症協議会設立40周年をお祝いできたことを嬉しく思います。貴会の益々のご発展を祈念いたします。

また失語症全国大会が今後も全国各地で継続して開催されることを切に望んでいます。



参加者による記念写真

「全国大会 in やまなし」動画 YouTube 限定公開

<https://www.youtube.com/watch?v=SBvkFc1EJeU>

右のQRコードを読み取って、ごらんください。

